

活動計画

※ “危ない” に強い安心安全なまち

- ・自主防災隊を中心とした訓練をする
- ・地区ごとの昼・夜別の避難訓練をする
- ・各家庭で防災情報を得られる工夫をする
- ・災害時の連絡体制の確立をする
- ・防災リーダーを養成し避難場所を歩いて体験する
- ・災害時要援護者マップの作成と支援者への依頼を検討する
- ・住民に危険箇所を知ってもらう説明会を開催する
- ・歩行困難者避難用搬送用具の確保、設置場所の情報収集をする
- ・各家庭で防災グッズや非常食など準備の推進をする
- ・災害時要援護者の確認の方法について検討する
- ・地域での絆を深める為、積極的な声かけ運動をする
- ・青色パトロールの内容を見直ししながら継続する
- ・あいさつ運動を継続する

※ イベント・スポーツでつながるまち

- ・世代間を越えてできるスポーツ教室を開催する
- ・青島にある施設を有効利用した事業を検討する
- ・地域を挙げてラジオ体操に取り組む
- ・スポーツ指導者の発掘及びリスト作成をする
- ・スポーツ少年団の加入推進や新たなスポーツクラブを検討し、スポーツ活動を活性化させる
- ・キャンプシーズンを活かしてプロ選手から指導を受けるイベントの検討をする
- ・地元の祭りを企画し、みんなで参加する
- ・マリンスポーツイベント（海の救命講習も含む）を利用し市外からも呼び込む企画をする
- ・隣接町村と連携したイベントの検討をする
- ・NPO法人「ENJOY LIFE青島」によるスポーツイベントを開催する
- ・軽トラ市やフリーマーケットのイベントを開催する
- ・青島・内海地区の運動会の実施により絆を深める
- ・地元のサークル活動をしている団体の情報を収集し住民の輪を広げる

※ 福祉が充実した笑顔の絶えないまち

- ・高齢者、病弱者の安否確認の方法について検討する
- ・近隣所の買い物代行や便乗の親切活動を検討する
- ・高齢者宅の訪問活動を実施する
- ・自治会長や民生委員の人材マップを作成する
- ・栄養士等専門家から指導を受ける場を設ける
- ・健康診断の受診率の向上のための啓発運動をする
- ・朝ごはんを食べまじょうの啓発運動をする
- ・サロン等を利用して様々な交流活動を実施する
- ・空家・自治公民館等を利用して情報交換のできる居場所の活用を検討する

※ 教育が充実した夢あふれるまち

- ・囲碁や将棋、お茶の立て方などの経験者を活かし学校に紹介する
- ・青島小学校と内海小学校の交流授業の体験を企画する
- ・学校と連携し郷土の歴史を学べる企画を検討する
- ・サロン等を利用し、子どもと大人が意見交換をし子どもたちの将来の材料にする
- ・経験者などが講師となって、夏休みなどに課外塾を開く
- ・地元の祭典、伝統行事等に子どもたちを参加させ交流の機会を増やす
- ・少人数制の学校の授業の良さを地域外の保護者や子供たちにアピールする

※ 地域資源を活かしたまち

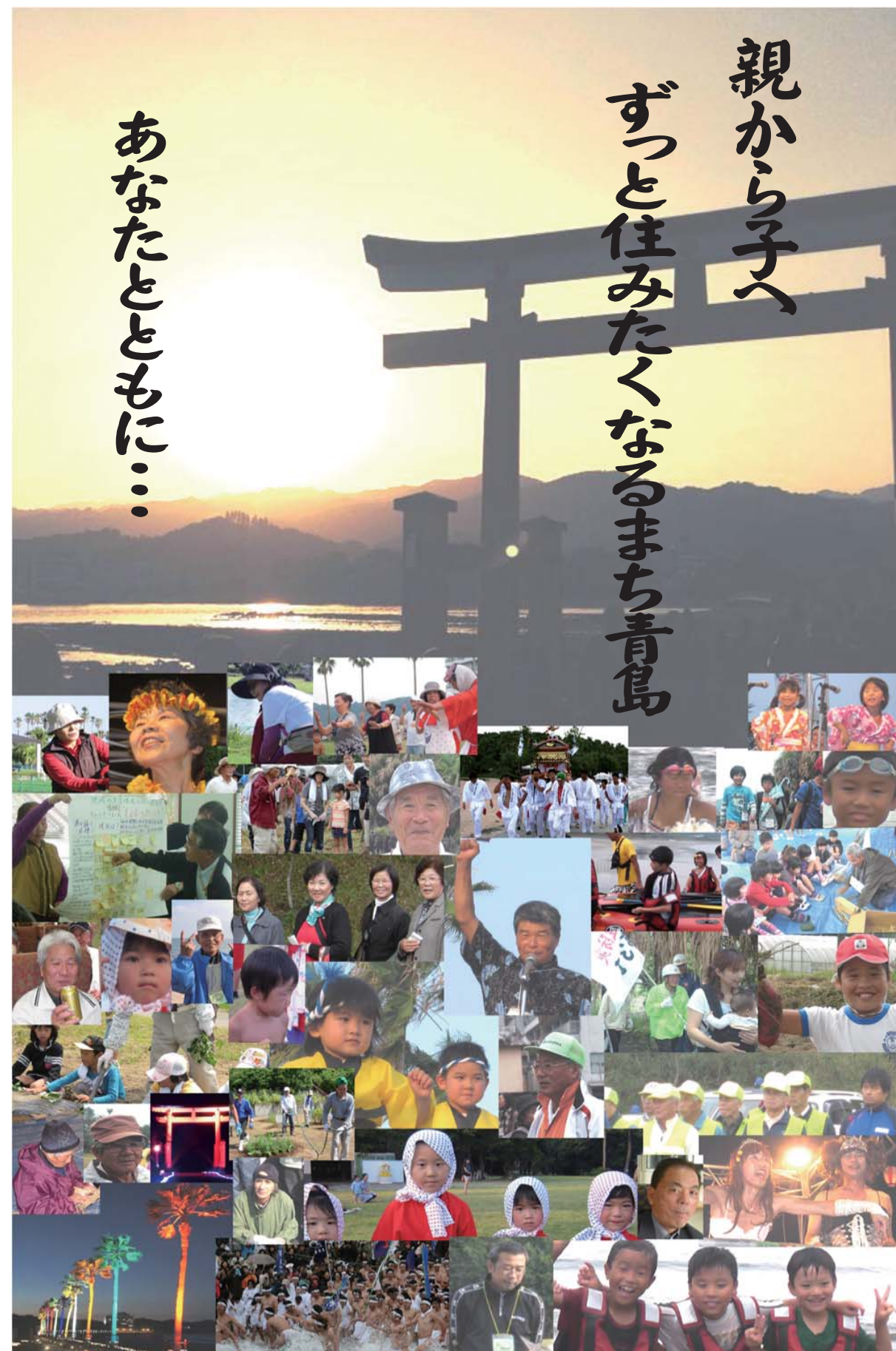
- ・伝統行事を次の世代に残すような活動を実施する
- ・観光地クリーン作戦の検討をする
- ・みんなで地域のまつりや伝統行事に参加する
- ・青島特産・既存施設・空家・景観等、情報発信を目的としたホームページの作成を検討する
- ・既存にある貸出自転車等を利用して青島の名所を知ってもらう企画をする
- ・絶景マップや案内看板を作成し青島をPRする
- ・人材、協力など情報を得るための掲示板を作成し住民に広く周知を図る
- ・各団体の情報を収集し地域協議会だより等で住民に広報する

平成26年3月

青島地域自治区地域協議会

連絡先: 青島地域自治区事務所
(青島地域センター)

TEL 65-1231
FAX 55-4001



青島地区地域魅力発信プラン

ずっと住みたくなるまち青島



★地域の現状★

※高齢化、後継者不足、過疎化に悩むまち

- ・少子高齢化（単身高齢者の増加）
- ・農業漁業全てに後継者不足している
- ・人とのふれあいがなく認知に気付かない
- ・隣人とのつながりが薄れている
- ・相談するところが分からない

※地域の安心安全

- ・夜間の対応などが不安である
- ・避難経路の周知が不十分である
- ・少人数の防災訓練をしていない
- ・緊急連絡網が出来ていない
- ・自主防災隊員活動がわからない
- ・近隣住民の情報がない
- ・昼間は若者が少ない
- ・地域センター、各団体との連絡交換が不足している

※人材育成

- ・既存団体組織が弱まっている
- ・世代交代が出来ていない
- ・スポーツ指導者が不足している（情報が少ない）
- ・子どもたちが求める部活が少ない
- ・スポーツ団体が少なく、地域活動も分からない

※車がないと不便なまち

- ・公共交通機関が少なく、不便である
- ・単身高齢者が多く移動するのに不便である

※健康あつての絆づくり

- ・健康診断を受ける住民が少ない
- ・朝食をとらない子どもが多い

※祭りを活性化

- ・祭り組織が高齢化している
- ・組織活動が認知されていない

※挨拶から始まるまち

- ・挨拶が浸透していない
- ・登校以外は挨拶がない